

平成29年度

第1回 市政モニターアンケート

北九州市立文学館について

## 目 次

I	調査の概要	1
II	市政モニターの構成	1
III	調査結果	2
1	文学への興味・関心について	2
2	関心のある文学の分野について	3
3	文学に関する情報の入手方法について	4
4	北九州市立文学館の知名度について	5
5	文学館の利用について	6
6	文学館を利用したことがない理由について	7
7	文学館の利用目的について	8
8	文学館利用の満足度について	9
9	改善すべきだと感じた点について	10
10	知りたい文学者について	11
11	子ども（小中学生）の利用のための展示方法について	12
12	意見要約	13
IV	全体考察	14

## I 調査の概要

調査対象者市政モニター	150人	
回答者数	135人(回収率 90%)	
調査実施日	平成29年5月8日～平成29年5月26日	
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査	
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課	TEL 582-2527
調査依頼課	市民文化スポーツ局文学館	TEL 571-1505

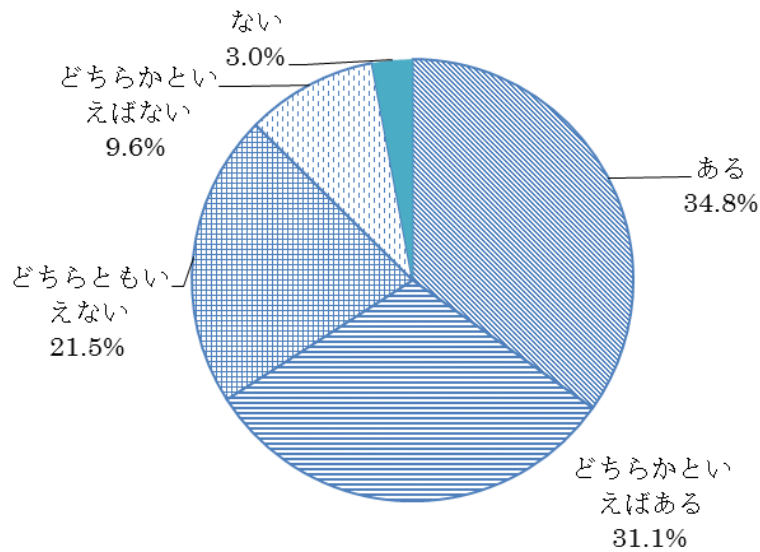
## II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	60 (40.0%)	90 (60.0%)	区 別			
				門司区	16 (10.7%)	3 (2.0%)	13 (8.7%)
20歳代	21 (14.0%)	5 (3.3%)	16 (10.7%)	小倉北区	28 (18.7%)	12 (8.0%)	16 (10.7%)
30歳代	26 (17.3%)	3 (2.0%)	23 (15.3%)	小倉南区	33 (22.0%)	16 (10.7%)	17 (11.3%)
40歳代	28 (18.7%)	10 (6.7%)	18 (12.0%)	若松区	13 (8.7%)	5 (3.3%)	8 (5.3%)
50歳代	23 (15.3%)	8 (5.3%)	15 (10.0%)	八幡東区	11 (7.3%)	3 (2.0%)	8 (5.3%)
60歳代	30 (20.0%)	20 (13.3%)	10 (6.7%)	八幡西区	40 (26.7%)	18 (12.0%)	22 (14.7%)
70歳以上	22 (14.7%)	14 (9.3%)	8 (5.3%)	戸畑区	9 (6.0%)	3 (2.0%)	6 (4.0%)

※数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

#### 問1 文学に興味・関心がありますか。(1つのみ回答)



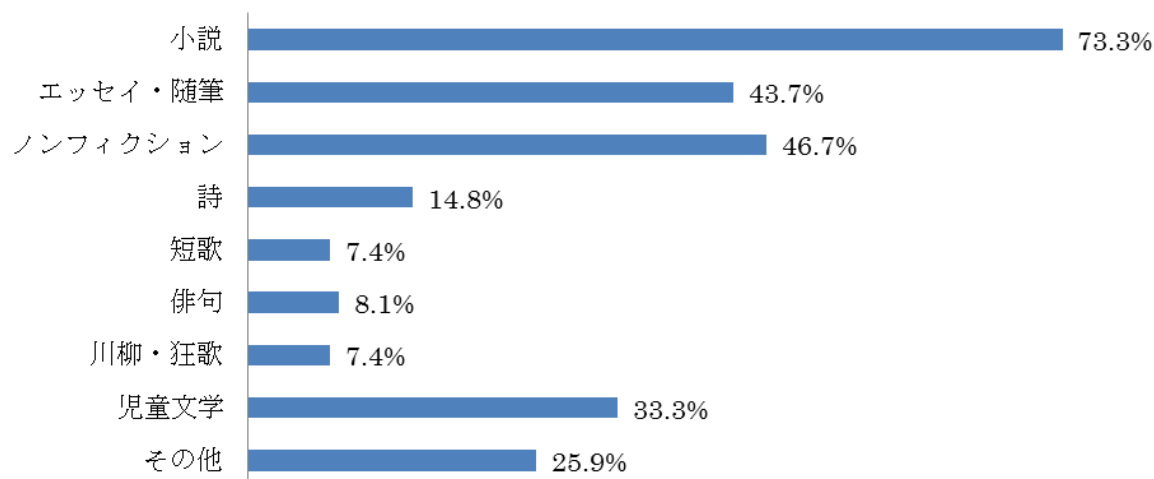
		回答者数	ある	どちらかといえあればある	どちらともいえない	どちらかといえはない	ない
全体		135	34.8%	31.1%	21.5%	9.6%	3.0%
性別	男性	53	37.7%	20.8%	20.8%	15.1%	5.7%
	女性	82	32.9%	37.8%	22.0%	6.1%	1.2%
年齢別	20代	16	12.5%	43.8%	12.5%	31.3%	0.0%
	30代	24	12.5%	50.0%	25.0%	8.3%	4.2%
	40代	26	46.2%	19.2%	19.2%	3.8%	11.5%
	50代	22	27.3%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%
	60代	28	60.7%	21.4%	10.7%	7.1%	0.0%
	70代以上	19	36.8%	31.6%	26.3%	5.3%	0.0%
区別	門司	15	46.7%	26.7%	13.3%	6.7%	6.7%
	小倉北	27	29.6%	25.9%	33.3%	11.1%	0.0%
	小倉南	31	48.4%	29.0%	9.7%	9.7%	3.2%
	若松	12	25.0%	41.7%	25.0%	8.3%	0.0%
	八幡東	10	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	八幡西	33	21.2%	36.4%	27.3%	9.1%	6.1%
	戸畑	7	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%

全体では、「ある」(34.8%)「どちらかといえあればある」(31.1%)の合計は、65.9%であり、過半数を超えています。

年代別では、20代(56.3%)、30代(62.5%)、40代(65.4%)、50代(54.6%)、60代(82.1%)、70代以上(68.4%)であり、60代の文学への関心が最も高く、8割を超えています。

全体では、「ない」(3%)「どちらかといえはない」(9.6%)の合計は12.6%でした。「ない」「どちらかといえはない」との回答は、20代が31.3%と最も高くなっています。

問2 関心のある文学の分野は何ですか。(複数回答可)

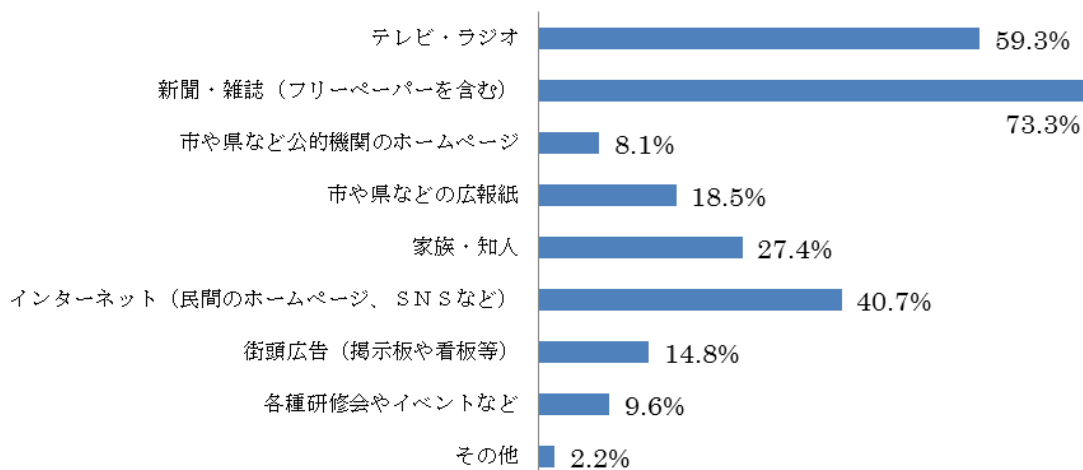


全体		回答者数	小説	エッセイ・随筆	ノンフィクション	詩	短歌	俳句	川柳・狂歌	児童文学	その他
			割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
		135	73.3%	43.7%	46.7%	14.8%	7.4%	8.1%	7.4%	33.3%	25.9%
性別	男性	53	64.2%	37.7%	47.2%	13.2%	5.7%	11.3%	9.4%	13.2%	30.2%
	女性	82	79.3%	47.6%	46.3%	15.9%	8.5%	6.1%	6.1%	46.3%	23.2%
年齢別	20代	16	87.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.8%	31.3%
	30代	24	62.5%	37.5%	54.2%	16.7%	4.2%	0.0%	4.2%	62.5%	20.8%
	40代	26	80.8%	57.7%	53.8%	19.2%	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%	38.5%
	50代	22	63.6%	40.9%	36.4%	13.6%	13.6%	18.2%	4.5%	22.7%	36.4%
	60代	28	78.6%	42.9%	46.4%	17.9%	10.7%	14.3%	14.3%	10.7%	10.7%
	70代以上	19	68.4%	52.6%	52.6%	10.5%	5.3%	10.5%	5.3%	36.8%	5.3%
区別	門司	15	86.7%	40.0%	40.0%	33.3%	6.7%	13.3%	13.3%	40.0%	26.7%
	小倉北	27	66.7%	51.9%	55.6%	3.7%	7.4%	7.4%	0.0%	37.0%	29.6%
	小倉南	31	77.4%	45.2%	38.7%	16.1%	9.7%	9.7%	6.5%	29.0%	29.0%
	若松	12	83.3%	66.7%	66.7%	25.0%	16.7%	8.3%	25.0%	50.0%	16.7%
	八幡東	10	80.0%	40.0%	40.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	30.0%	30.0%
	八幡西	33	63.6%	36.4%	51.5%	12.1%	0.0%	6.1%	6.1%	27.3%	24.2%
	戸畑	7	71.4%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%

全体では、「小説」(73.3%)と最も高く、2位の「ノンフィクション」(46.7%)を26.6ポイント上回っています。次いで「エッセイ・随筆」(43.7%)、「児童文学」(33.3%)、「詩」(14.8%)「俳句」(8.1%)、「短歌」(7.4%)「川柳・狂歌」(7.4%)の順でした。

性別では、「児童文学」への関心が、男性(13.2%)、女性(46.3%)、と33.1ポイントの差があります。

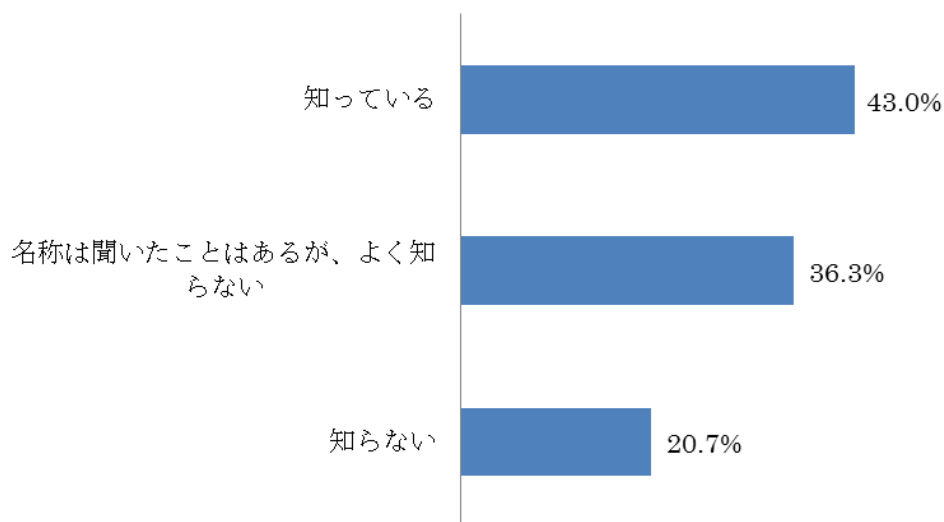
問3 文学に関する情報はどのように入手されていますか。(複数回答可)



性別	年齢別	区別	回答者数	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌 (フリーペーパーを含む)	市や県など公的機関のホームページ	市や県などの広報紙	家族・知人	インターネット (民間のホームページ、SNSなど)	街頭広告 (掲示板や看板等)	各種研修会やイベントなど	その他				
			全体	135	59.3%	73.3%	8.1%	18.5%	27.4%	40.7%	14.8%	9.6%	2.2%			
男性	女性	20代	53	50.9%	73.6%	13.2%	22.6%	20.8%	37.7%	9.4%	18.9%	1.9%				
			82	64.6%	73.2%	4.9%	15.9%	31.7%	42.7%	18.3%	3.7%	2.4%				
20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	16	62.5%	56.3%	0.0%	18.8%	25.0%	56.3%	25.0%	0.0%	6.3%	
						24	75.0%	58.3%	4.2%	8.3%	37.5%	66.7%	20.8%	4.2%	4.2%	
						26	61.5%	69.2%	3.8%	11.5%	46.2%	50.0%	7.7%	11.5%	3.8%	
						22	50.0%	86.4%	13.6%	4.5%	9.1%	45.5%	18.2%	4.5%	0.0%	
						28	57.1%	85.7%	7.1%	17.9%	21.4%	21.4%	10.7%	7.1%	0.0%	
						19	47.4%	78.9%	21.1%	57.9%	21.1%	5.3%	10.5%	31.6%	0.0%	
門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	15	60.0%	100.0%	0.0%	13.3%	53.3%	40.0%	13.3%	6.7%	6.7%
							27	74.1%	66.7%	0.0%	18.5%	25.9%	55.6%	18.5%	7.4%	3.7%
							31	41.9%	77.4%	6.5%	16.1%	12.9%	38.7%	16.1%	9.7%	3.2%
							12	75.0%	83.3%	8.3%	8.3%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
							10	50.0%	70.0%	20.0%	10.0%	50.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
							33	57.6%	60.6%	15.2%	24.2%	21.2%	30.3%	21.2%	15.2%	0.0%
							7	71.4%	71.4%	14.3%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%

全体では、「新聞・雑誌」(73.3%)、「テレビ・ラジオ」(59.3%)などの報道機関を通じての割合が高くなっています。インターネット(民間のホームページ、SNSなど)は20代(56.3%)、30代(66.7%)の割合が高くなっています。

問4 北九州市立文学館を知っていますか。(1つのみ回答)

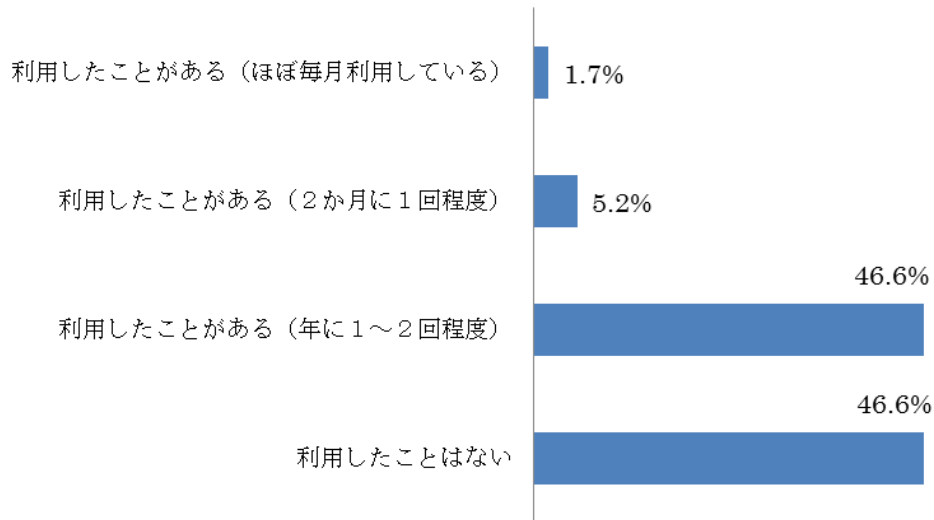


		回答者数	知っている	名称は聞いたことはあるが、よく知らない	知らない
全体		135	43.0%	36.3%	20.7%
性別	男性	53	49.1%	32.1%	18.9%
	女性	82	39.0%	39.0%	22.0%
年齢別	20代	16	25.0%	37.5%	37.5%
	30代	24	25.0%	45.8%	29.2%
	40代	26	42.3%	34.6%	23.1%
	50代	22	50.0%	36.4%	13.6%
	60代	28	57.1%	28.6%	14.3%
	70代以上	19	52.6%	36.8%	10.5%
区別	門司	15	60.0%	33.3%	6.7%
	小倉北	27	44.4%	37.0%	18.5%
	小倉南	31	41.9%	41.9%	16.1%
	若松	12	33.3%	41.7%	25.0%
	八幡東	10	40.0%	30.0%	30.0%
	八幡西	33	36.4%	36.4%	27.3%
	戸畑	7	57.1%	14.3%	28.6%

全体では、「知っている」(43.0%)、「名称は聞いたことはあるが、よく知らない」(36.3%)、「知らない」(20.7%)でした。

年代別では、「知っている」の割合が高いのは50代(50.0%)と60代(57.1%)で、「知らない」の割合が高いのは、20代(37.5%)30代(29.2%)でした。

問5 文学館を利用したことがありますか。(1つのみ回答)

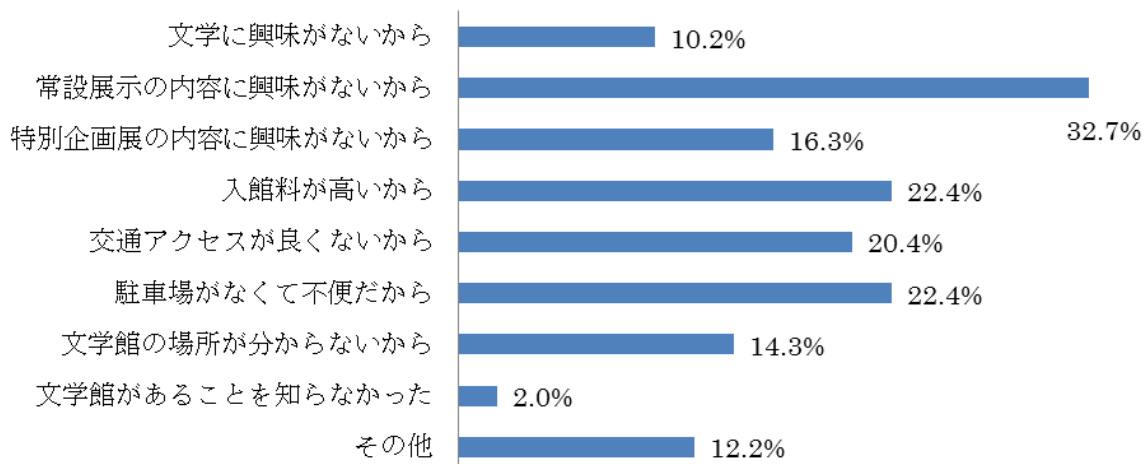


		回答者数	利用したことがある (ほぼ毎月利用している)	利用したことがある (2か月に1回程度)	利用したことがある (年に1~2回程度)	利用したことはない
全体		58	1.7%	5.2%	46.6%	46.6%
性別	男性	26	0.0%	7.7%	46.2%	46.2%
	女性	32	3.1%	3.1%	46.9%	46.9%
年齢別	20代	4	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	30代	6	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	40代	11	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%
	50代	11	9.1%	0.0%	54.5%	36.4%
	60代	15	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%
	70代以上	11	0.0%	27.3%	36.4%	36.4%
区別	門司	9	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%
	小倉北	12	0.0%	8.3%	58.3%	33.3%
	小倉南	13	0.0%	7.7%	53.8%	38.5%
	若松	4	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡東	4	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%
	八幡西	13	0.0%	0.0%	53.8%	46.2%
	戸畑	3	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%

全体では、「利用したことがある (ほぼ毎月利用している) 」(1.7%) 「利用したことがある (2か月に1回程度) 」(5.2%) 「利用したことがある (年に1~2回程度) 」(46.6%) の合計は、53.5%で、約半数(46.6%)の人が「利用したことはない」と回答しています。



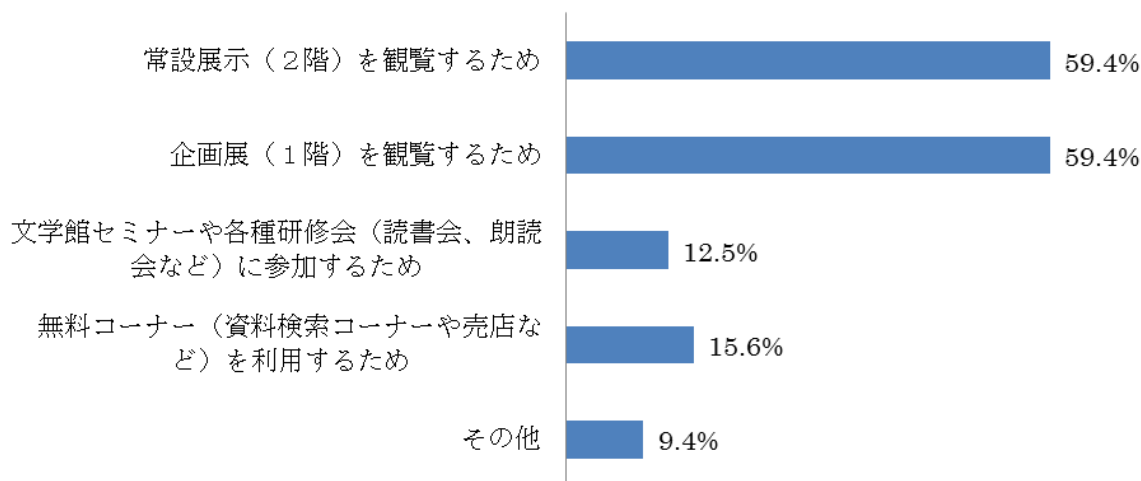
問6 文学館を「あまり利用しない」又は「利用したことがない」理由は何ですか。(複数回答可)



		回答者数	文学に興味がないから	常設展示の内容に興味がないから	特別企画展の内容に興味がないから	入館料が高いから	交通アクセスが良くないから	駐車場がなくて不便だから	文学館の場所が分からないから	文学館があることを知らなかった	その他
全体		49	10.2%	32.7%	16.3%	22.4%	20.4%	22.4%	14.3%	2.0%	12.2%
性別	男性	21	14.3%	33.3%	19.0%	23.8%	19.0%	28.6%	14.3%	4.8%	9.5%
	女性	28	7.1%	32.1%	14.3%	21.4%	21.4%	17.9%	14.3%	0.0%	14.3%
年齢別	20代	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	30代	6	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
	40代	11	9.1%	18.2%	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%
	50代	9	22.2%	22.2%	11.1%	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	60代	11	9.1%	45.5%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%
	70代以上	8	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%
区別	門司	9	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%
	小倉北	10	20.0%	60.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	小倉南	10	0.0%	20.0%	20.0%	30.0%	10.0%	30.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	若松	2	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東	4	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	八幡西	12	8.3%	33.3%	16.7%	16.7%	41.7%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%
	戸畑	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

全体では、「常設展示の内容に興味がないから」(32.7%)が最も高く、次いで、「入館料が高いから」(22.4%)、「駐車場がなくて不便だから」(22.4%)、「交通アクセスが良くないから」(20.4%)と続いています。

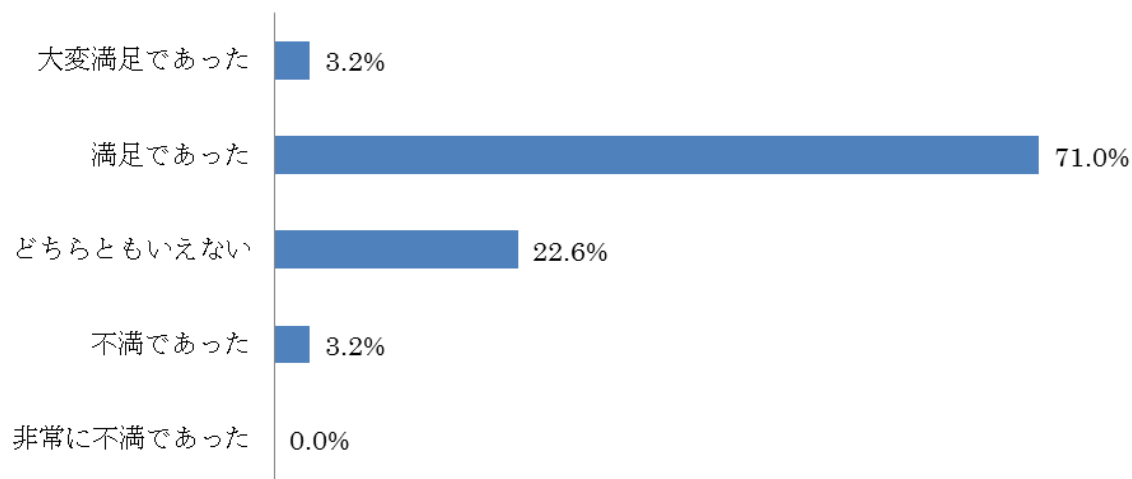
問7 文学館はどのような目的で利用しましたか。(複数回答可)



		回答者数	常設展示(2階)を観覧するため	企画展(1階)を観覧するため	文学館セミナーや各種研修会(読書会、朗読会など)に参加するため	無料コーナー(資料検索コーナーや売店など)を利用するため	その他
全体		32	59.4%	59.4%	12.5%	15.6%	9.4%
性別	男性	15	73.3%	46.7%	13.3%	13.3%	0.0%
	女性	17	47.1%	70.6%	11.8%	17.6%	17.6%
年齢別	20代	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	4	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	40代	3	66.7%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%
	50代	7	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%
	60代	10	70.0%	60.0%	0.0%	20.0%	10.0%
	70代以上	7	85.7%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%
区別	門司	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	小倉北	8	62.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%
	小倉南	8	62.5%	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%
	若松	4	100.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%
	八幡東	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西	6	50.0%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	戸畑	3	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%

全体では、「常設展示(2階)を観覧するため」(59.4%)、「企画展(1階)を観覧するため」(59.4%)が最も高い結果となりました。

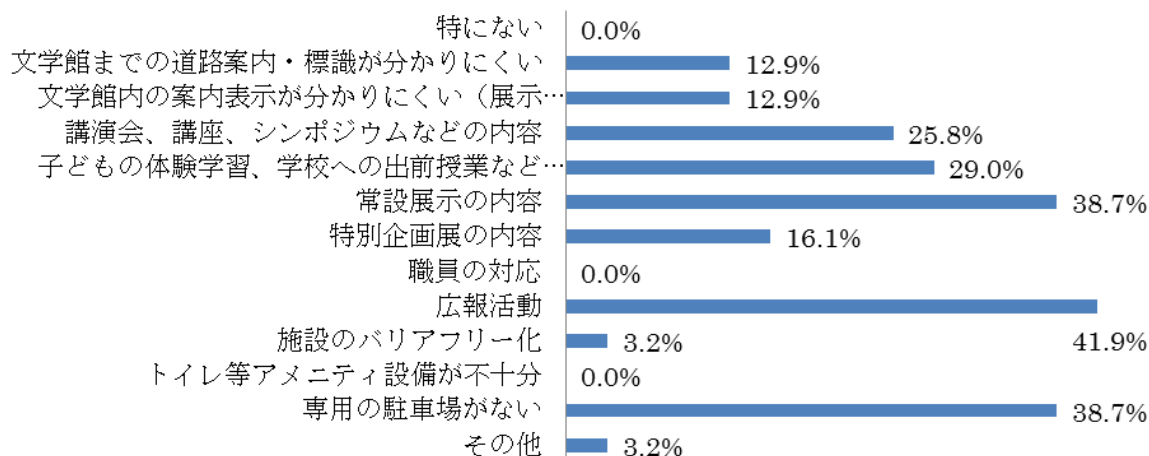
問8 文学館を利用して満足でしたか。また、その理由をおたずねします。(1つのみ回答)



		回答者数	大変満足 であった	満足であ った	どちらとも いえない	不満であ った	非常に不満 であった
全体		31	3.2%	71.0%	22.6%	3.2%	0.0%
性別	男性	15	0.0%	80.0%	13.3%	6.7%	0.0%
	女性	16	6.3%	62.5%	31.3%	0.0%	0.0%
年齢別	20代	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	30代	4	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	40代	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	50代	7	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%
	60代	9	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	70代以上	7	0.0%	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%
区別	門司	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	小倉北	8	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	小倉南	8	0.0%	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%
	若松	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	八幡東	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡西	6	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	戸畑	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

全体では、「満足であった」(71.0%)が最も高く、次いで、「どちらともいえない」(22.6%)、「大変満足であった」(3.2%)、「不満であった」(3.2%)と続き、「非常に不満であった」との回答はありませんでした。

問9 文学館を利用して、改善すべきだと感じた点を次の中から選んでください。（複数回答可）



性別	回答者数	特にない	文学館までの道路案内・標識が分かりにくい	文学館内の案内表示が分かりにくい（展示順の工夫）	講演会、講座、シンポジウムなどの内容	子どもの体験学習、学校への出前授業など子ども向けの教育内容	常設展示の内容	特別企画展の内容	職員の対応	広報活動	施設のバリアフリー化	トイレ等アメニティ設備が不十分	専用の駐車場がない	その他	
全体	31	0.0%	12.9%	12.9%	25.8%	29.0%	38.7%	16.1%	0.0%	41.9%	3.2%	0.0%	38.7%	3.2%	
性別	男性	14	0.0%	21.4%	14.3%	35.7%	21.4%	35.7%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	35.7%	0.0%
	女性	17	0.0%	5.9%	11.8%	17.6%	35.3%	41.2%	17.6%	0.0%	41.2%	5.9%	0.0%	41.2%	5.9%
年齢別	20代	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30代	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	40代	3	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50代	7	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
	60代	9	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	55.6%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	70代以上	7	0.0%	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%
区別	門司	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉北	8	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	小倉南	7	0.0%	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%
	若松	4	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	八幡東	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡西	6	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	戸畑	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%

全体では、「広報活動」（41.9%）が最も高く、次いで、「常設展示の内容」（38.7%）、「専用の駐車場がない」（38.7%）の順となっています。

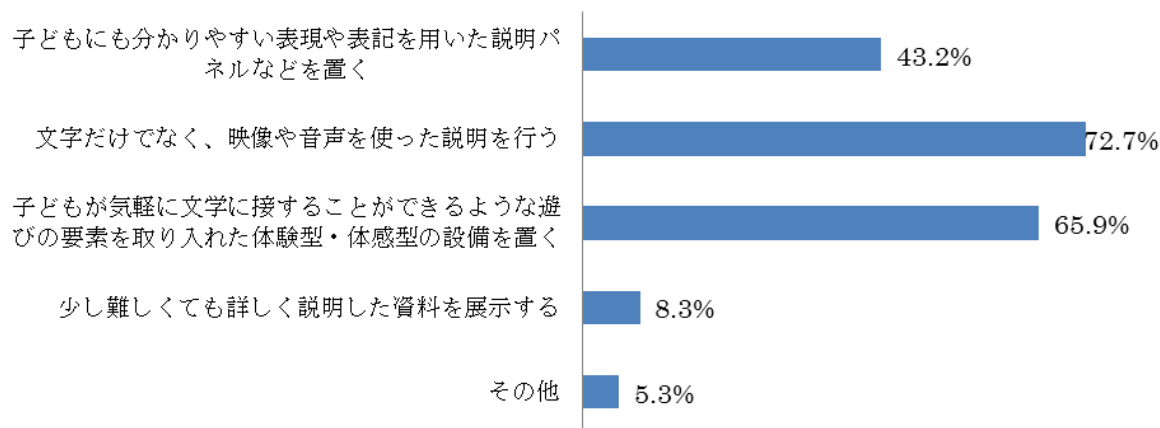
問10 北九州市から、多くのゆかりの文学者が輩出されています。次の文学者で詳しく作品などを  
知りたいのは誰ですか。(知りたい作家の番号を○で囲んでください。複数回答可)

	1位	2位	3位	4位	5位
	森鷗外	リリー・フランキー	松本清張	火野葦平	林芙美子
全体	62.7%	50.7%	50.0%	47.0%	39.6%
	森鷗外	火野葦平	松本清張	林芙美子	リリー・フランキー
男性	71.7%	62.3%	52.8%	47.2%	41.5%
	森鷗外	リリー・フランキー	松本清張	火野葦平	林芙美子
女性	56.8%	56.8%	48.1%	37.0%	34.6%
	リリー・フランキー	森鷗外	松本清張	神沢利子	火野葦平
20代	68.8%	62.5%	56.3%	37.5%	25.0%
	リリー・フランキー	森鷗外	松本清張	林芙美子	火野葦平
30代	75.0%	62.5%	50.0%	33.3%	33.3%
	森鷗外	リリー・フランキー	林芙美子	火野葦平	松本清張
40代	69.2%	57.7%	42.3%	38.5%	38.5%
	森鷗外	リリー・フランキー	松本清張	火野葦平	林芙美子
50代	52.4%	47.6%	42.9%	38.1%	28.6%
	森鷗外	火野葦平	松本清張	林芙美子	佐木隆三
60代	71.4%	67.9%	60.7%	50.0%	35.7%
	火野葦平	林芙美子	森鷗外	松本清張	佐木隆三
70歳以降	73.7%	63.2%	52.6%	52.6%	42.1%
	リリー・フランキー	森鷗外	松本清張	林芙美子	火野葦平
門司	66.7%	46.7%	46.7%	40.0%	40.0%
	森鷗外	リリー・フランキー	火野葦平	林芙美子	松本清張
小倉北	66.7%	55.6%	51.9%	48.1%	44.4%
	森鷗外	火野葦平	松本清張	リリー・フランキー	佐木隆三
小倉南	61.3%	41.9%	41.9%	41.9%	32.3%
	森鷗外	リリー・フランキー	松本清張	火野葦平	林芙美子
若松	75.0%	66.7%	58.3%	41.7%	33.3%
	林芙美子	森鷗外	火野葦平	みずかみかずよ	松本清張
八幡東	70.0%	50.0%	50.0%	50.0%	40.0%
	森鷗外	松本清張	火野葦平	リリー・フランキー	林芙美子
八幡西	68.8%	62.5%	59.4%	46.9%	43.8%
	森鷗外	松本清張	杉田久女	神沢利子	リリー・フランキー
戸畑	57.1%	57.1%	42.9%	42.9%	42.9%

全体の上位5名の作家は、「森鷗外」(62.7%)、「リリー・フランキー」(50.7%)、「松本清張」(50.0%)、「火野葦平」(47.0%)「林芙美子」(39.6%)との結果でした。

世代別では、「森鷗外」が全ての世代の上位5名に含まれています。

問 1 1 日頃から、子ども（小中学生など）に文学館を利用してもらうためには、どのような展示方法が良いと思いますか。（複数回答可）



		回答者数	子どもにも分かりやすい表現や表記を用いた説明パネルなどを置く	文字だけでなく、映像や音声を使った説明を行う	子どもが気軽に文学に接することができるような遊びの要素を取り入れた体験型・体感型の設備を置く	少し難しくても詳しく説明した資料を展示する	その他
全体		132	43.2%	72.7%	65.9%	8.3%	5.3%
性別	男性	52	42.3%	75.0%	44.2%	11.5%	1.9%
	女性	80	43.8%	71.3%	80.0%	6.3%	7.5%
年齢別	20代	15	66.7%	46.7%	86.7%	6.7%	6.7%
	30代	23	21.7%	87.0%	78.3%	0.0%	4.3%
	40代	26	46.2%	69.2%	84.6%	3.8%	11.5%
	50代	21	38.1%	71.4%	71.4%	14.3%	0.0%
	60代	28	46.4%	75.0%	35.7%	10.7%	3.6%
	70代以上	19	47.4%	78.9%	47.4%	15.8%	5.3%
区別	門司	15	53.3%	60.0%	73.3%	6.7%	6.7%
	小倉北	26	34.6%	76.9%	57.7%	7.7%	3.8%
	小倉南	30	40.0%	76.7%	76.7%	3.3%	3.3%
	若松	12	66.7%	91.7%	66.7%	16.7%	0.0%
	八幡東	10	30.0%	70.0%	70.0%	0.0%	20.0%
	八幡西	32	43.8%	65.6%	59.4%	15.6%	6.3%
	戸畑	7	42.9%	71.4%	57.1%	0.0%	0.0%

全体では、「文字だけでなく、映像や音声を使った説明を行う」（72.7%）が最も高く、次いで、「子どもが気軽に文学に接することができるような遊びの要素を取り入れた体験型・体感型の設備を置く」（65.9%）、「子どもにも分かりやすい表現や表記を用いた説明パネルなどを置く」（43.2%）、「少し難しくても詳しく説明した資料を展示する」（8.3%）「その他」（5.3%）の順となっています。

## 1 2 意見要約

- 文学館のHPをもっと充実させて。学芸員の文学紹介等、積極的に発信。
- 文学＝カチカチなイメージが強い。楽しい！！というイメージに変えて。
- 作品だけでなく、作家の人物像等を映像化したもの。そこから作品を見たい。
- 2階は静かで良いが、少し無駄なスペースと感ずることも。今月の特集等として作家を絞って魅せて欲しい。漠然とした展示に感ずる。
- 北九州市は映画のロケ地になることが多い。原作の企画展等、映画とコラボ。観光客も呼べるのでは。
- 敢えて文学館に行く理由が無い。文学以外にも楽しみがある時代に何故、文学館が必要なのか？必要だとすれば、誰もが楽しめる文学を紹介する事で興味を持ってもらう事から始めるべきでは。
- わかりやすい愛称があると良い。
- (Webサイトを閲覧) 誰に対し、何を提供するための施設なのか。
- とにかく、堅いイメージ。文学館に行ってみようという魅力を感じない。
- 子どもや若者の集客を考えるなら、北九州輩出の文学者にとらわれずに、注目の作家や大手書店などとのコラボ企画などはどうだろうか？
- 文豪をあつかった漫画が流行っていて、興味をもつ子も増えている。読む前から毛嫌いされてしまわないようなソフトなイメージが文学館に必要。
- 年代に関係なく楽しめる企画、また行って見たいと感ずさせる企画。出身区ごとの特別展を実施し、その区在住の方は無料とする。
- たくさんの文学者を紹介するより、有名な方を少しずつ展示。子ども向けにアニメであったり、文学者をキャラクター化しても面白い。
- 北九州にゆかりのある作家が、思いのほか多く驚いた。その割には、現在も活躍している作家や翻訳家、児童文学の紹介が乏しい。
- 北九州市立文学館という名前がまじめ。覚えやすいひらがなを使った名前。
- 品格を保ちつつ10年経過。実績を基に現在がある。子どもたちに底辺を広げる工夫が欲しい。地域と共に育てる文学館を目指して。
- 子ども連れの家族が来て、マナーを守りながら楽しめるもの。外国人観光客が立ち寄りたくなるような工夫。入口がわかりにくい。通りがかりに、入りたくなるような周囲の環境整備が必要。
- 児童文学作家もおり、小中学生に利用してもらえないのは非常に残念。小学校高学年の社会見学シーズンにあわせ、子ども向け企画展示。
- 「火野葦平の生い立ちとカップ伝説」、「森鷗外の小倉での生活と作品」のアニメ化。
- 鷗外ロボットに自作を語らせたら。漱石ロボットと対談。門司の英美子、清張、戸畑の宗左近、若松の葦平等を自転車で巡るマップ、スタンプラリー。
- 大人向けの施設だと感ずていた。親子で学べる施設にリニューアルして。

#### IV 全体考察

##### 1 文学への興味・関心について

全体では、「ある」(34.8%)、「どちらかといえばある」(31.1%)の合計は65.9%と、高い結果が示されました。

年代別では、20代(56.3%)、30代(62.5%)、40代(65.4%)、50代(54.6%)、60代(82.1%)、70代以上(68.4%)であり、60代の文学への関心が最も高く、8割を超えていることがわかりました。

##### 2 関心のある文学の分野について

全体では、「小説」(73.3%)が最も関心のある文学の分野との結果が出ました。

20代では、「小説」(87.5%)や、「児童文学」(43.8%)分野への関心が高い一方、「詩」(0%)「短歌」(0%)「川柳・狂歌」(0%)など、関心が薄い分野が存在していることがわかりました。

##### 3 文学に関する情報の入手方法について

全体では、情報の入手の手段として活用されている媒体は、「新聞・雑誌(フリーペーパーを含む)」(73.3%)次いで、「テレビ・ラジオ」(59.3%)との結果が出ました。

世代別では、「インターネット(民間のホームページ、SNSなど)」を通じた情報の入手が20代(56.3%)、30代(66.7%)、40代(50.0%)、50代(45.5%)、60代(21.4%)、70代以上(5.3%)と、世代により、情報の入手方法に違いが生じていることがわかりました。

##### 4 北九州市立文学館の知名度について

全体では、「知っている」(43.0%)「名称は聞いたことがあるが、よく知らない」(36.3%)、「知らない」(20.7%)との結果が示されました。

世代別では、「知らない」との回答が、20代(37.5%)、30代(29.2%)、40代(23.1%)、50代(13.6%)、60代(14.3%)、70代以上(10.5%)との結果から、若い世代ほど、知名度が低いことがわかりました。

##### 5 文学館の利用について

設問4で文学館を「知っている」(43.3%)と回答した人で、「利用したことがある(年に1~2回程度)」と回答した人が(46.6%)と最も高く、「利用したことがない」(46.6%)と同数であることがわかりました。

文学館の存在は認知していても、施設利用には至っていないことがわかりました。

##### 6 文学館を利用したことがない理由について

全体としては、「常設展の展示内容に興味がないから」(32.7%)が最も高く、次いで、「入館料が高いから」(22.4%)、「駐車場がなくて不便だから」(22.4%)、「交通アクセスが良くないから」(20.4%)と続いています。

展示内容の他に、文学館へのアクセスについても利用につながっていない要因となっていることがわかりました。



7 文学館の利用目的について

全体として、「常設展示（2階）を観覧するため」（59.4%）「企画展（1階）を観覧するため」（59.4%）が利用目的の大半を占めていることがわかりました。

8 文学館利用の満足度について

全体では、「満足であった」（71.0%）、「大変満足であった」（3.2%）、合計74.2%となっており、おおむね、満足度は高いことがわかりました。

9 改善するべきだと感じた点について

全体では、「広報活動」（41.9%）、「常設展の内容」（38.7%）、「専用駐車場がない」（38.7%）、「子どもの体験学習、学校への出前授業など、子ども向けの教育内容」（29.0%）との結果が出ました。

10 知りたい文学者について

全体の上位5名の作家は、「森鷗外」（62.7%）、「リリー・フランキー」（50.7%）、「松本清張」（50.0%）、「火野葦平」（47.0%）、「林芙美子」（39.6%）との結果でした。「森鷗外」は、20代、30代では2位、40代から60代までは1位、70代以上では、3位となり、全世代を通じて興味を持たれている文学者であることがわかりました。一方、世代別で、興味が分かれる文学者も存在していることがわかりました。

11 子ども（小中学生）の利用のための展示方法について

「文字だけでなく、映像や音声を使った説明を行う」（72.7%）、「子どもが気軽に文学に接することができるような遊びの要素を取り入れた体験型・体感型の設備を置く」（65.9%）、「子どもにも分かりやすい表現や表記を用いた説明パネルなどを置く」（43.2%）、「少し難しくても詳しく説明した資料を展示する」（8.3%）と続き、子ども向けには、「詳しさ」より、「理解のしやすさ」が求められていることがわかりました。